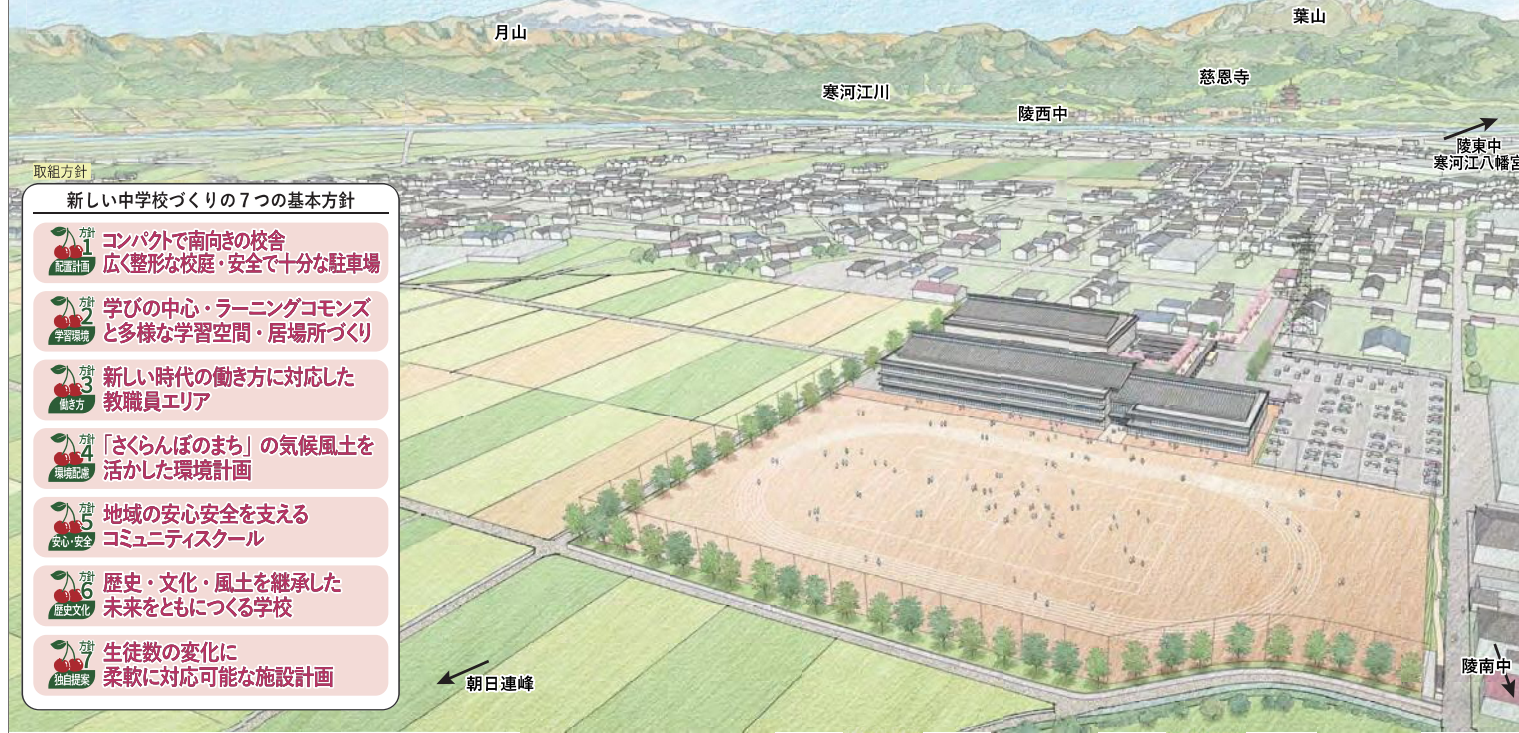


周囲に山々を臨み 大地を潤す寒河江川・最上川に包まれた「さくらんぼのまち」寒河江 慈恩寺学校から続く 150 年の寒河江の教育の歴史を未来につなぐ新しい学校



新しい中学校づくりの7つの基本方針

- コンパクトで南向きの校舎
広く整形な校庭・安全で十分な駐車場**
- 学びの中心・ラーニングcommons
と多様な学習空間・居場所づくり**
- 新しい時代の働き方に対応した
教職員エリア**
- 「さくらんぼのまち」の気候風土を
活かした環境計画**
- 地域の安心安全を支える
コミュニティスクール**
- 歴史・文化・風土を継承した
未来をともにつくる学校**
- 生徒数の変化に
柔軟に対応可能な施設計画**

実施体制

教育施設設計の経験豊富なベストチーム

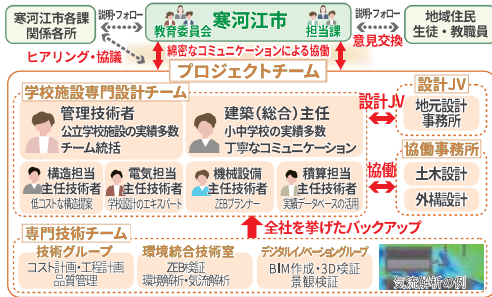
- 学校施設・公共施設設計のエキスパート**
- ・管理技術者、建築（総合）主任をはじめとするチーム全員が多数の学校、公共施設の設計実績を有しています。
 - ・受賞、ZEB 認証、補助金採択など客観的評価を得た建築を当チームで複数実現しています。

専門技術 専門技術チームによる万全のバックアップ

- ・コスト計画、工事工程計画、ZEB 検証、冬期気流解析、BIM・3D 検証など様々な技術的検証を全社を挙げて取り組みます。

地域特性 地域特性を十分に理解した地元設計事務所との協働

- ・地元で設計事務所を構えて87年。山形県内で多数の実績・公共施設実績を持ち、地域特性を十分に理解した設計事務所と協働します。

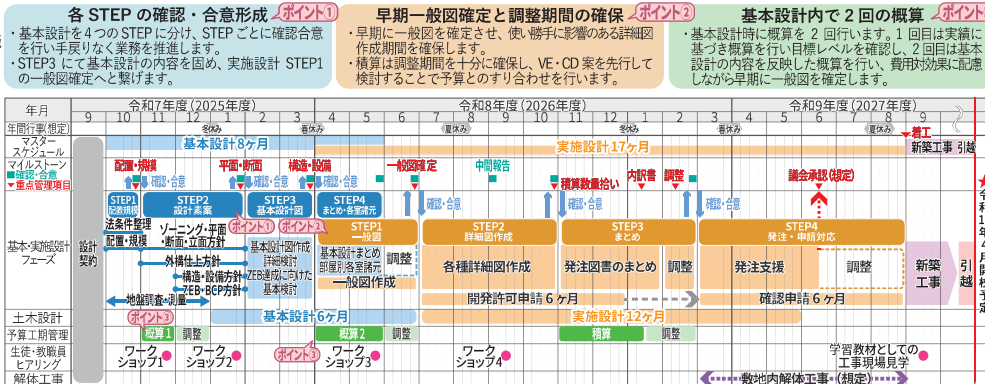


新中学校 歴史と未来につなぐ3つのテーマ



業務工程表

スケジュール管理 手戻りのない、確実なスケジュール管理



特に重視する業務上の配慮事項

徹底したコスト計画と丁寧なコミュニケーション

コスト計画 確実なコスト計画の実施

- ・予算の設定・確実な合意形成
- ・設計初期に事業全体像や仕様を確認・協議し、各工事の目標コストを設定します。

豊富な実績に基づく迅速な建設市況の反映

- ・弊社実績データを基に市況を分析し、工事費高騰を反映した概算を算定。

BIM 活用による確実な数量の把握

- ・BIM データにより躯体数量や土量を把握し、精度の高い概算を算出。

建物規模と構造形式の徹底的な検証

- ・イニシャルコストに直結する規模や構造は、複数案の比較検討を行い最適な方針を立案します。

品質管理 高い技術水準の品質を確保

マイルストーンの設定と STEP ごとの確認合意

- ・重要ポイントを設定し、STEP 毎に担当課と確認・合意を得ながら業務を進めます。

ヒアリングの実施による要望事項の把握

- ・重要ポイントに合わせて関係者へのヒアリングを細やかに実施し、要望事項を確実に把握します。

インプットリストによる課題の見える化

- ・ヒアリング等による課題を整理・リスト化し、要望をもれなく反映します。

コミュニケーション手法 丁寧な対話と徹底した検証に基づく合意形成

寒河江市、学校、地域住民をつなぐ「ハブ」

- ・各関係者の要望を丁寧にヒアリングし、プロジェクトを円滑に遂行します。

視覚的にわかりやすい資料による活発な議論

- ・模型や 3D モデルなどを活用し、感覚的にわかりやすい資料を用いて計画イメージを共有します。

多角的な検証を経た最適案の選定

- ・比較検討は適切な評価軸の設定を行い、生徒・教職員・地域の視点から複数案を作成。対話を重ね最適案を選定します。

- ・必要に応じ将来用途転用後の施設プログラムや教室稼働率の計算による少子化を見据えた規模検討を行います。

	基本計画案（ロの字案）	本提案
校舎出入口	普通教室 校庭	普通教室 校庭
校庭の形状	校庭	校庭
延床面積	17,423 m ²	約 15,700 m ² （基本計画より 10% 減＝建設費削減）
普通教室の採光	特別支援教室 5 室が北側採光	全室南向採光（ハイサイドライト採用）
特別教室の位置	北側配置、教室との距離がやや遠い	ラーニングcommonsを中心に対峙配置、教室から近い
ラーニングセンター	1 階に配置、教室とのつながりがやや希薄	3 階に配置、教室との連携が可能
職員室の位置	2 階に配置、校庭が見えにくい	1 階校庭側に配置、前扉口も同時に見守ることが可能
地域開放	建物の一部のため区画の工夫が必要	分棟のためセキュリティラインが容易に明快

多角的な検証の例（検討案比較表）

その他業務上の配慮事項

次世代につなぐ環境づくり

多様性に配慮した細やかな施設整備

- ・LGBTQ+ に対応したトイレ計画やインクルーシブ教育に向けた施設整備の在り方など、丁寧なヒアリングと多角的検討を行います。

目標耐用年数 80 年を踏まえた施設の長寿命化

- ・構造体は堅牢に内装・設備は将来の用途変更に対応可能な構成とします。耐久性が高く汚れにくい材料を使用し、維持管理に配慮します。

将来の用途変更に対応可能な計画

- ・将来、地域利用として活用される可能性を見据え、日常利用を妨げない改修動線を確保すると共に、多様な使い方に応えられる柔軟な空間構成とします。

計画時から竣工後まで、地域と共につくる学校

- ・地域参画型ワークショップを開催し地域と共に使い方を考え、建設後も生徒や地域住民が協働し施設運営に関わる体制づくりを目指します。

- ・さがえ未来コンソーシアムとの連携を検討、地域や地元企業と共に生徒が多様な学びや体験に触れる未来をつくります。

- ・記念樹植樹イベント、竣工記念タイムカプセル、ピオタープなどを地域みんなで作ります。

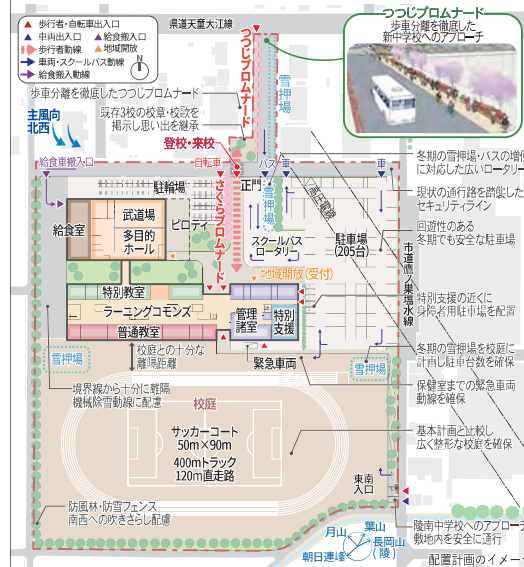


コンパクトで南向きの校舎・広く整形な校庭 安全で十分な駐車場

テーマ1-1 周辺環境に配慮し、校舎・校庭・駐車場を効率的活用する配置提案
体育館を別棟とし、コンパクトかつ効率的な校舎を実現
・高い階高が必要な体育館を別棟とし校舎の階高を抑えコンパクトな校舎を実現します。

冬の保護者の送迎車両も考慮した広い駐車場
・待機車両スペースを駐車場内に確保し、敷地外に渋滞をおこさない計画とします。
・緊急車両動線、敷地内の2方向避難動線を確保します。

駐車場や緑地と明快地に区分けし、南側に整形な校庭を確保
・北側に駐車場・緑地を集約することで基本計画より校庭を500㎡大きく計画します。



テーマ1-2 生徒、教職員、来訪者の安全確保のための容易で明確な動線提案
2つの「ブロムナード」で歩行者と車両を明確に分離
つつじブロムナード
・西側に歩道を新設し、市の花「つつじ」を植えます。

さくらブロムナード
・西側を歩行者、東側を車両とすることで歩車分離を徹底します。

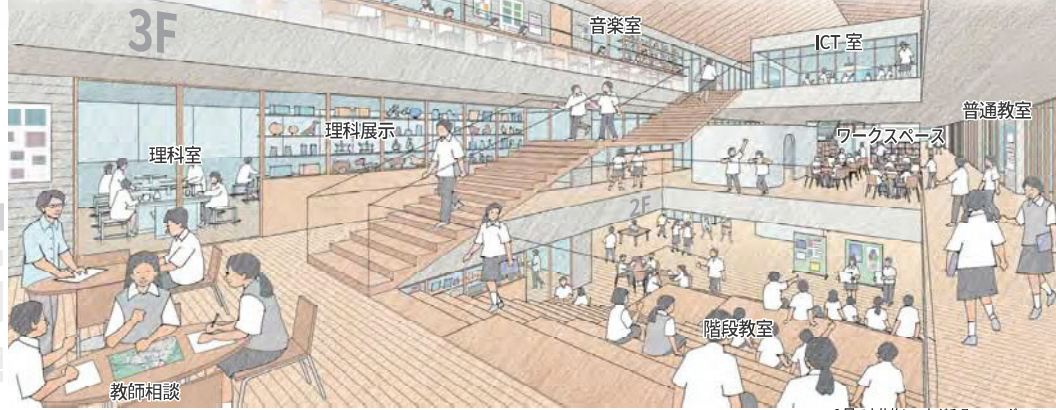
荒天時のスクールバス台数の増加にも対応可能な雁木のバスヤード
・スクールバス 2 台分に加え、荒天時のバスの増便に対応可能な底付きのバスヤードとします。

プール授業で他施設に移動するためのバスヤードとしても活用
・市街地へのバス移動が必要な場合にも、利用可能なバスヤードです。

テーマ1-3 校舎全体が明るく開放的で、眺望にも配慮した室内空間の提案
校舎全体に光を取り込む大屋根のハイサイドライト
・大屋根に校舎中央部へ光と風を導くハイサイドライトを設けます。

北側の特別支援教室にも南面採光を可能とするハイサイドライト
・北側の特別支援教室には、ハイサイドライトで南面の採光を届けます。

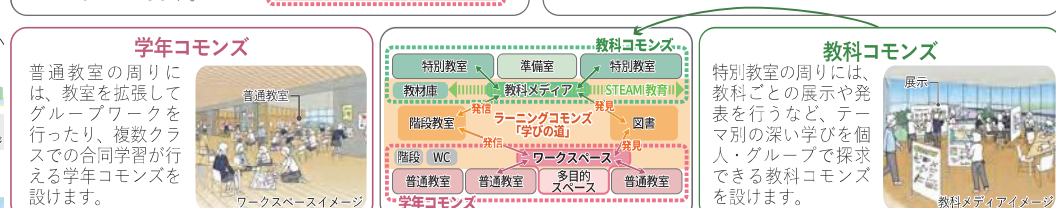
様々な活動が顔を出すラーニングコモンズ「道」となり、学校全体をつなぎます



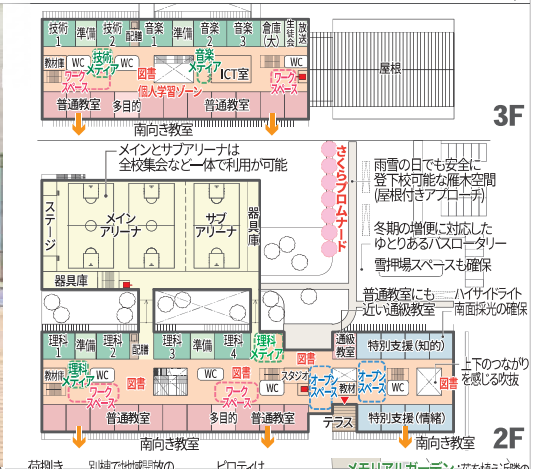
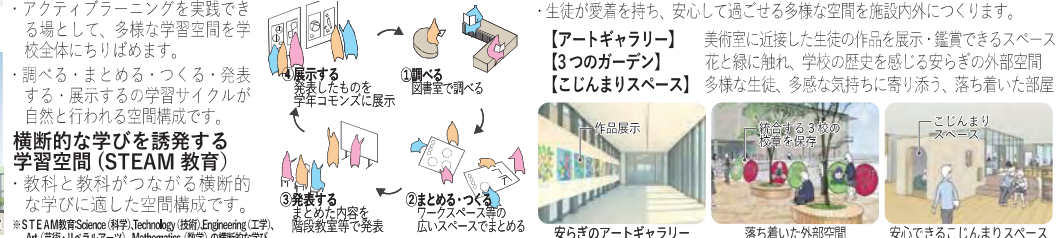
3層で立体的につながるラーニングコモンズ
「コモンズ：従来のオープンスペースを発展させ、知識や経験を共有しながら共に学ぶ場を指します。」

テーマ2-4 まわりを持ち全体がシームレスにつながる明快な空間構成の提案
校舎全体がシームレスにつながる学びの道「ラーニングコモンズ」

校舎中央を貫く「道」としてのラーニングコモンズが、校内の教室、各施設をシームレスにつないでいきます。



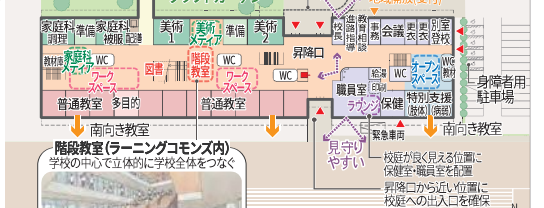
テーマ2-1 横断的で多目的な学びに対応した多様で創造的な学習空間の提案
調べる・まとめる・つくる・発表する・展示する



メインとサブアリーナは全校集会など一体利用可能
雨雪の日でも安全に登下校可能な雁木空間（屋根付きアプローチ）
冬の増便に対応したゆとりあるバスロタリー
・雪押場スペースも確保

特別支援（知的）
特別支援（情緒）
特別支援（身体）

特別支援（知的）
特別支援（情緒）
特別支援（身体）



凡例：▶ 学校出入口 ▶ 地域開放出入口
▶ 車両出入口 ▶ 給食搬入口 ■ EV

設計者からの提案 生徒数の変化に柔軟に対応可能な施設計画-1

教室数減少に柔軟に対応可能な計画
・現在の普通教室の構成は10クラスを横並びに計画しているため、生徒数の変化や学習形態の変化に柔軟に対応することが可能です。
・教室数に空きが出た場合の様々な使い方のパターンを検討します。

【3つの縦の学年ユニット型】
・竣工後約5年で1学年が9クラスになる予測となっています。（寒河江市学校施設整備計画（改訂版））
・縦方向に3クラス×3層で9クラスの1学年ユニットを形成することにより、学年間の移動距離を短縮でき、フロアごとの異学年交流も容易な構成とすることが可能です。

【特別支援教室を学年ユニットに組み込むインクルーシブ型】
・特別支援教室を各学年ユニット内に組み込むインクルーシブ型の教育が可能です。
・普通教室と特別支援教室との連携をより深めることができます。

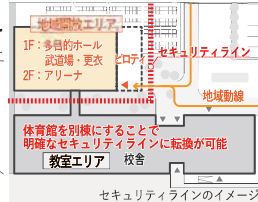
【全ての教科に教科専用教室があり、生徒が移動する教科教室型】
・教科教室型など学習形態の変更にも柔軟に対応が可能です。
・多目的スペースや空きが出た教室をホームベースに充てます。

図1 教室数の減少に対応可能な縦の3つの学年ユニット

地域安心安全を支えるコミュニティスクール

テーマ5-2 明確なゾーン分けによる円滑な地域開放セキュリティラインの提案
スポーツエリアを別棟とし、教室エリアと明快にゾーン分け
 ・地域開放エリアを別棟とし、教室エリアと区分します。

非常時にそのままセキュリティラインに転換
 ・地域開放時と非常時のセキュリティラインが一致し、防災機能へのスムーズな転換が可能です。



テーマ5-1 地域コミュニティの拠点として耐久性と防災機能を持つ学校の提案
フェイズフリーな機能転換 学校活動⇄地域活動⇄避難所機能
 ・地域活動エリアが、そのまま災害対応エリアへ機能転換します。
 ・1階の給食室と家庭科室と家庭科室前の庭が、非常時にはそのまま炊き出しエリアとして利用することが可能です。

段階的な学校再開を可能とするエリアゾーニング

・発災時には指定避難所として学校の大部分を避難エリアとして使用しますが、段階的に学校を再開しながら避難所機能も維持できる計画とします。

学校・地域	災害時(防災)	フェイズ3 学校再開	フェイズ2 学校一部再開	フェイズ1 発災時
体育館	体育の授業・部活動	指定避難場所	指定避難場所	指定避難場所
武道場	授業・ダンス	指定避難場所	指定避難場所	指定避難場所
多目的ホール	冬の運動スペース	情報掲示板の設置	情報掲示板の設置	情報掲示板の設置
ピロティ	運動場所	炊き出し・物資受入	炊き出し・物資受入	炊き出し・物資受入
給食室	給食センター	炊き出し拠点	炊き出し拠点	炊き出し拠点
家庭科室	授業・料理教室	炊き出しサブ拠点	炊き出しサブ拠点	炊き出しサブ拠点

テーマ5-3 インクルーシブ教育に配慮した施設の提案
普通教室と連続した南面採光の特別支援教室

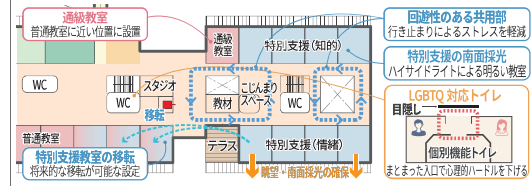
・普通教室と連続した並びに特別支援教室を配置します。
 ・北側の特別支援教室はハイサイドライトの南面採光を取り入れます。

回遊性のある特別支援ゾーン / センサリールーム設置

・特別支援教室ゾーンは回遊性のある共用部で避難時も安全です。
 ・感覚環境を整え、心身を落ち着かせる空間センサリールームを設けます。

多様性に配慮したトイレ、更衣室

・男女のトイレとは別に、入り口に配慮した個別機能トイレを設けます。
 ・更衣室についても、男女とは別に個室型更衣室を設けます。

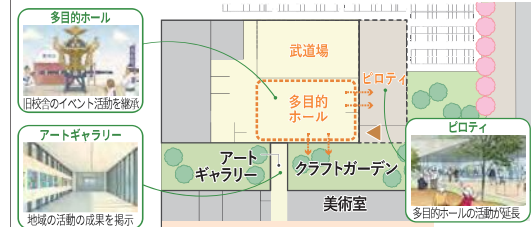


テーマ5-4 住民や企業等と連携し地域に開かれたコミュニティスクールの提案
スポーツエリア内に多目的ホールを配置し連携活用

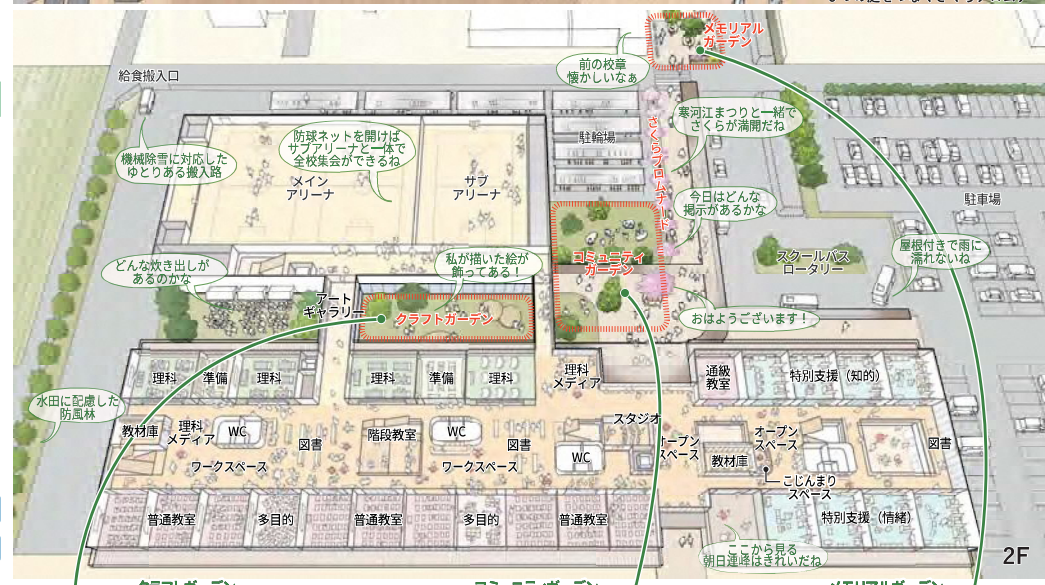
・体育館棟1階に多目的ホールを配置し、日常は体育授業の補助として、地域開放時は武道場と連携した展示等に利用することが可能です。

アートギャラリーやクラフトガーデンも地域利用可能

・美術室と連続したアートギャラリーや外部活動エリアのクラフトガーデンは、将来地域開放エリアとして利用することも可能な計画です。



まちに見守られ学びが育つ、安心で開かれたコミュニティスクール

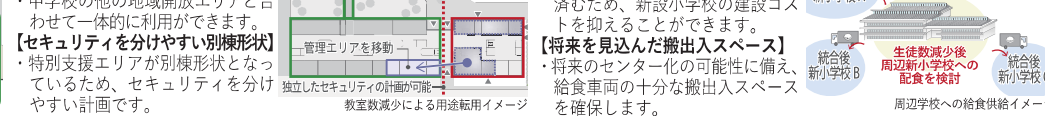


設計者からの提案 生徒数の変化に柔軟に対応可能な施設計画-2

特別支援エリアを地域利用の別用途にすることが可能
【他の公共施設への用途転用】
 ・特別支援エリアを学校とは切り離し、他の公共施設へ用途転用して使用することが可能です。

【地域開放エリアとの一体的活用】
 ・中学校の他の地域開放エリアと合わせて一体的に利用ができます。

【セキュリティを分けやすい別棟形状】
 ・特別支援エリアが別棟形状となっているため、セキュリティを分けやすい計画です。



歴史・文化・風土を継承した学校

・新中学校 歴史を未来につなぐ3つのテーマ「長岡山(陵)・大江氏の家紋・慈恩寺・三重塔」を寒河江市ならではの学校づくりに活かします。

テーマ6-1 歴史、文化及び風土を反映した学校の提案

寒河江の風景と調和した、まちのシンボルとなる学校
 ・景観条例を遵守し、寒河江の山並みと調和した外観とします。

低層で分節された景観と調和
 ・校舎を低層で3棟に分節し、大きく見えない形態とします。

景観を阻害しない黒色低反射太陽光パネルを採用
 ・太陽光パネルは、山並みの景観を阻害しないものを検討します。



テーマ6-3 地域社会と調和し、賑わいを創出する「みんなに親しまれる学校」の提案
まちとの接点になる2つのプロムナード
【つじびプロムナード】(セキュリティ外)

・市の花つじに加え、3校の校章の花を植える(シラネアオイ・オモダカ・タンポポ)
 ・地域と共に花を育て、近隣病院へ花を届け飾る活動を継続

【さくらプロムナード】(セキュリティ内)
 ・3つの庭(メモリアル・コミュニティ・クラフト)をつなぐ歩道

学校と地域が連携する3つの庭
【メモリアルガーデン】(地域の庭)

・統合する3校の校章と校歌を掲示するさくらんぼをイメージした円形銘板

【コミュニティガーデン】
 ・地域と学校の活動を掲示し交流が深まる「さくらんぼRED」の「コミュニケーションボード」

【クラフトガーデン】(学校の庭)
 ・地域イベント、美術室などの授業に利用できるさくらんぼ型の円形木デッキを設置

テーマ6-2 豪雪地帯についての雪害対策(例：雪庇対策、駐車場の雪押場確保)
無落雪屋根による除雪労力削減と雪害防止

・バラベットのには雪切り金物を設置し、雪庇を防止します。

・傾斜屋根の下部には堆雪スペースを設け、バルコニーや庇からの落雪を防止します。

生徒動線となる「プロムナード」に井水による無散水消雪設備を設置
 ・生徒の通学動線には、井水による無散水消雪設備を設けます。

除雪不要な雁木のスクールバス乗り場
 ・スクールバス乗り場、校舎、体育館までの道に雁木を設置します。

車路及び駐車場に十分な雪押場を確保
 ・車の入るエリアに十分な広さの雪押場を複数箇所設けます。

隣地への影響を最小限とする防雪フェンスや樹木を設置
 ・南西側に広がる農地に対して、風の吹きさらしや雪の吹き溜まりを防止するために、敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

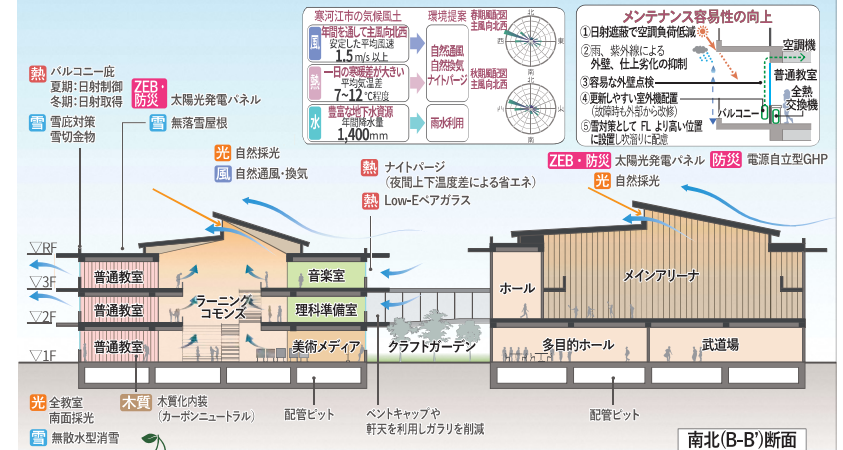
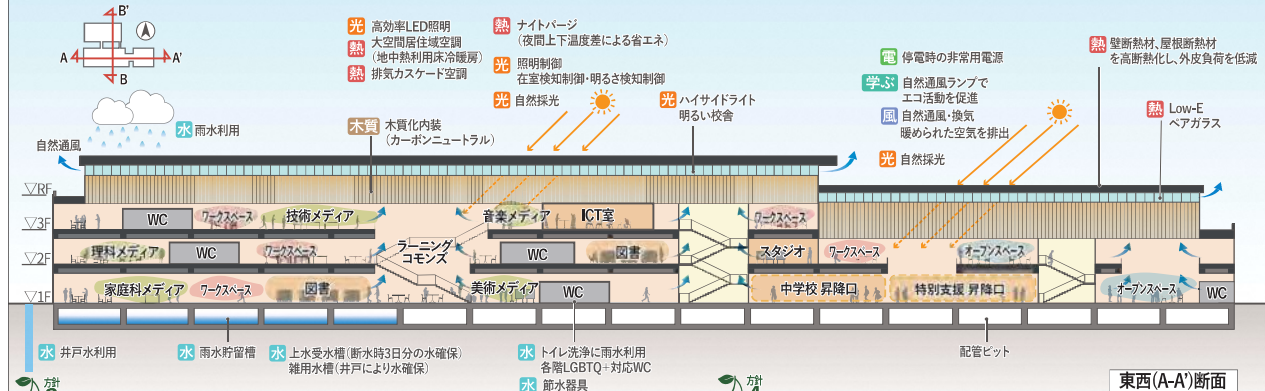
・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

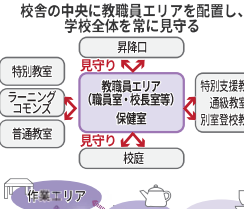
・雪庇対策
 ・自然積雪範囲
 ・無散水型消雪設備範囲
 ・機械除雪動線
 ・敷地内に適宜設定した雪押場に堆雪
 ・敷地境界付近に防雪フェンスや防風林としての樹木を配置し隣地への影響を最小化します。

新時代に対応した「さくらんぼのまち」ならではの環境配慮型の学び舎



新しい時代の働き方に対応した教職員エリア

テーマ3-1 ICT でパフォーマンスを最大化できる執務環境の提案
学校全体を安全に見守る『教職員エリア』
 ・教職員エリアは、北側に通学する生徒、南側の校庭、各普通教室、特別教室、ラーニング commons、特別支援教室の全てが見渡せる校舎の中央に配置します。
コミュニケーションを活性化させる教職員エリア
 ・新時代の働き方に対応した、先生同士のコミュニケーションがとりやすく、作業効率が良い仕組みを教職員エリアに作ります。



【ワークステーション（作業エリア、印刷）と給湯を隣接配置】
 ・給湯エリアと作業・印刷エリアを隣接させることでマグネットスペースとなり、自然発生的に先生同士が集まり、コミュニケーションが生まれるきっかけがでる空間構成とします。

【個別のオンライン会議に対応するブース】
 ・職員室内に個別のオンライン会議や、集中して作業や打ち合わせのできるブース・仕切りのあるカウンター等を計画します。

【生徒が気軽に話せる質問カウンターと自習コーナー】
 ・職員室の入り口部分はカウンター式とし境の壁を取り払うことで、先生と生徒の距離を縮め気軽に生徒が質問できる仕様とします。
 ・質問カウンターの前は、生徒が自習できる自習コーナーを設け、必要に応じて先生にみてもらいながら学習ができるエリアをつくります。



教職員も活用できるラーニング commons
 ・ラーニング commons は、教材編集・作成のための資料閲覧や、テーマ別・教科横断的な知識探究を通じて授業に活かせる場です。
 ・生徒と程よい距離感を保ちながら、教材づくりや質問対応も行えます。



テーマ3-2 スタジオやラウンジなど機能性の高い執務空間の提案
生徒も利用可能なスタジオ（オンライン会議、映像編集）
 ・先生のオンライン会議や教材の映像編集に使われる、大型モニターや ICT 環境が整ったスタジオは、生徒と先生の両方が使用することが可能な2階のラーニング commons エリア内に設け稼働率を向上させます。

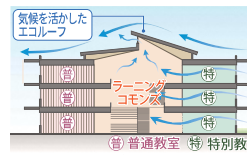


生徒の視線を気にせず休める職員ラウンジ
 ・教職員エリアの南側の明るいゾーンに職員ラウンジを設けます。生徒の視線を気にせずに先生同士が気軽に休憩しながらコミュニケーションが取れる休憩スペースです。

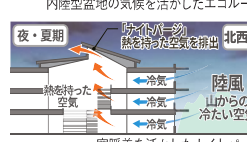


「さくらんぼのまち」寒河江の気候風土を活かした環境計画

テーマ4-1 脱炭素社会での環境負荷低減に貢献する施設の提案
山々と川に包まれた内陸型盆地の気候を活かす
 ・周囲を山々に囲まれ、寒河江川と最上川の扇状地である寒河江。「さくらんぼのまち」寒河江の内陸型盆地気候を最大限に活かした環境計画を行います。
 ・1日の昼夜の気温差が大きく、年間の気温差も大きい、寒河江の気候の特色を活かした施設計画とします。



【卓越風を活かすエコルーフ】
 ・大屋根の棟部分に段差を設け南側に面してハイサイドライトを計画し光を取り込みます。
 ・下階の教室の窓から寒河江川に沿って流れる山側からの卓越風を取り込み、上部のハイサイドライトの窓より空気を排出する計画とします。



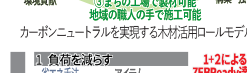
【一日の大きい寒暖差を活かしたナイトバージ】
 ・夏期において、夜間に北側の山から吹く涼やかな空気を取り込み、室内のこもった空気を排出し、始業時の空調の立ち上がり負荷を軽減させます。



【高断熱・高气密の徹底】
 ・冬に寒く夏に暑い盆地特有の気候を持つ寒河江市。高气密、高断熱を徹底した施設計画を行います。



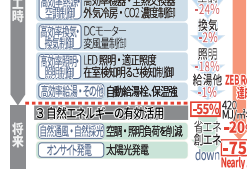
カーボンニュートラルな木質材料の積極的採用
 ・寒河江の豊富な森林資源を活かし、木材を内装材に積極的に活用します。



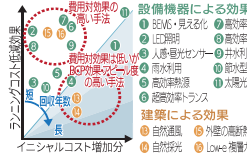
「やまがた森林(モリ)ノミクス」の「緑の循環システム」の一端を担う、地域の経済活動に貢献する新しい寒河江の中学校をつくれます。



テーマ4-2 ZEB を促進する設備の提案
ZEB Ready から Nearly ZEB へ
 ・日射遮蔽、高断熱化で建物負荷を抑制し、高効率機器を採用することにより ZEB Ready を達成します。
 ・竣工後の運用段階において、自然通風、自然採光による自然エネルギー利用の促進、太陽光発電による再生可能エネルギーの活用により Nearly ZEB を目指す計画とします。



費用対効果の高い省エネ手法
 ・省エネ技術のイニシャルコストとランニングコストの費用対効果の高いものから積極的に採用します。
 ・費用対効果が高いものでも、災害時に効果的なものや PR 効果の高いもの、見るに値するに学習効果の高いものについては採用を検討します。



遅延リスクを低減し、あらゆる角度から工期短縮を検討

工期短縮 機能を維持した上で工期を短縮する提案
市内の公共施設整備を考慮
 ・中学校移転後の跡地の利活用のスケジュールも念頭に置きながら、工期短縮について検討していきます。

工事期間	1	5	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
基本計画 (17,423 m ²) 鉄筋コンクリート造 (RC造)																				
構造成の工夫 (15,700 m ²) 床面積削減 (10%減) 鉄筋コンクリート造 (RC造)																				
構造の工夫 床面積削減 (10%減) 鉄骨造 (S造)																				
構法 床面積削減 (10%減) プレキャストコンクリート (PC造)																				

コンパクト化による床面積の縮減
 ・建物自体を効率的に計画することで、機能的でかつコンパクトな校舎とし、床面積を削減します。

鉄骨造による全体工期の短縮を検討
 ・鉄骨造も視野に入れることで、全体工期の短縮の可能性も検討します。

遅延リスク 工期遅延リスク低減対策
プレキャスト化・ユニット化による天候に左右されない工法を選定

・予め工場で製作できるものを先行して製作することで、現場作業を省力化し、工期短縮を図ります。
 ・費用対効果と合わせて採否を検討します。

将来に負担を残さない持続可能なコストデザイン
 建設コスト削減 機能を維持した上で建設コストの削減を図るための提案
設計から工事まで、全てのフェーズで建設コスト削減を検討
 ・設計時点から施工に至るまで、機能を維持した上で建設に係るあらゆる削減項目を洗い出し検討を行います。

仮設計画	山留が不要な計画（オープンカット）を採用
土工	場内発生土を外構計画や埋め戻し土に活用し、搬出量を削減 シンプルで効率的な平面計画による床面積の縮減 給食室面積の再検討
平面計画	
仕上計画	体育館床材に国際競技場でも使用されているスポーツ用長尺弾性床材を採用
構造計画	地盤改良材を採用、杭工事費を削減 適切な耐震壁の設置により躯体費を低減

【設計VE提案リストの先行作成】
 ・設計時に VE 項目を見える化することで、予算調整をタイムリーに実行します。

国交省	サステナブル建築物等推進事業の実績	ZEB 施設の実績
大学施設	6件	D 大学施設
教育施設	6件	H 大学施設
庁舎	3件	T 大学施設
合計16件 (※その他7件含む)		

【今後の建物価上昇を意識した予算管理】
 ・弊社の近年の豊富な公立学校の実績を活かし、設計期間中にも常に最新の工事費情報・分析をコスト計画に反映します。

国交省	サステナブル建築物等推進事業の実績	ZEB 施設の実績
大学施設	6件	D 大学施設
教育施設	6件	H 大学施設
庁舎	3件	T 大学施設
合計16件 (※その他7件含む)		

【補助金採択支援の豊富な実績】
 ・国交省サステナブル建築物等先導事業等の補助金取得の豊富な支援実績を活かし、補助金導入の可能性を検討します。

国交省	サステナブル建築物等推進事業の実績	ZEB 施設の実績
大学施設	6件	D 大学施設
教育施設	6件	H 大学施設
庁舎	3件	T 大学施設
合計16件 (※その他7件含む)		